

第52回高知県文芸賞受賞者一覧

部門	受賞名	住所(児童または生徒等の場合学校名及び学年)	氏名またはペンネーム(ふりがな)	タイトル(ただし、短歌、俳句、川柳は作品)
短編小説	文芸賞	高知市	吉岡 稚菜(よしおか わかな)	またね
	文芸奨励賞	高知市	永野 和美(ながの かずみ)	草原の絵葉書
		高知市	田中 健二郎(たなか けんじろう)	庭
	佳作	長岡郡本山町	川村 智保(かわむら ちほ)	合歓の木
		南国市	安藝友 知史(あきとも ともふみ)	結婚とは
詩	文芸賞	高知市	道願 正美(どうがん まさみ)	ふるさと流星群
	文芸奨励賞	高知市	おおたに あかり(おおたに あかり)	染める
		高知市	赤井 紫蘇(あかい しそ)	柿色の浴衣
		高知市	都築 悦子(つづき えつこ)	繕う
		高知市	栗山 文子(くりやま あやこ)	ポコちゃんのたんじょうび
		高知市	浜田 健夫(はまだ たてお)	泣いたやぎ
	佳作	南国市	宮本 泰子(みやもと やすこ)	九十五歳の挑戦
		高知市	宮地 令子(みやじ れいこ)	空蟬のように
		高知市	大野 充彦(おおの みつひこ)	虹
		香南市	青野 紀代美(あおの きよみ)	言の葉
		高知市	甫木 恵美(ほき えみ)	アサガオ
短歌	文芸賞	須崎市	廣見 正子(ひろみ まさこ)	戦争洪水飢饉猛暑星の悲鳴をきけと蟬鳴く
	文芸奨励賞	吾川郡いの町	西原 時子(にしはら ときこ)	生きるのは食べることぞと謳言ふ瘦せ地に挑みて節太き指
		香南市立赤岡中学校二年	多田 蓮(ただ れん)	このさきに何があってもくじけないだって僕には家族がいるから
		須崎市	土居 修(どい おさむ)	潮騒を聴いてあなたは母となる日陰にビーチサンダルを干す
		土佐市立高岡第一小学校六年	高橋 ひかり(たかはし ひかり)	夏休み汗でびっしょり合唱部ががんばりの汗キラリと光る
		土佐市	池田 育子(いけだ いくこ)	コンパインの爆音ならよし炎天の終戦記念日稲刈り始む
	佳作	幡多郡黒潮町	松岡 美代子(まつおか みよこ)	父の声母の声するダイヤルの電話機今も生家に座る
		高知市	中山 恭子(なかやま やすこ)	乗り過ぎしことには触れず留守番の夫を ^{ねぎら} 労ひ夕餉作りぬ
		土佐市立高岡第一小学校六年	浜崎 萌々香(はまさき ももか)	運動会放送係やりきった言いまちがえてこうかいもした
		高知市	山下 和代(やました かずよ)	背にリュック胸に子を抱き傘をさし雨の歩道を渡る母親
		安田町立安田中学校三年	大和田 奈都(おおわだ なつ)	居残りの短歌作りの教室の電波時計はゆっくり回る
俳句	文芸賞	高知市	川戸 右京(かわと うきょう)	春の風弥勒菩薩の吐息かも
	文芸奨励賞	南国市	澤村 正彦(さわむら まさひこ)	蛭蛸やこの世かの世をゆきもどり
		高知市	田村 乙女(たむら おとめ)	蚊遣してこの世に父も母もなく
		高知市	田村 土木(たむら どぼく)	生きてこそ灯る門灯つづれさせ
		安芸市	山崎 葉(やまさき よう)	窯を出て秋風を聞く壺の耳
		土佐市立高岡第一小学校五年	鈴木 優那(すずき ゆうな)	ドカーンと山からのぞく遠花火
	佳作	高知市	栗坂 昌宏(くりさか まさひろ)	虫売りの椅子に古りたる資本論
		高岡郡四万十町	藤原 佳代子(ふじはら かよこ)	羊水のごとき水引く植田かな
		高知市	露口 奈津子(つゆぐち なつこ)	昭和史のひとつに飯が饅えたこと
		高岡郡佐川町	駒木 基克(こまさ もとよし)	もう水にほとほと飽きて水中花
		高岡郡四万十町	中平 キリン(なかひら きりん)	今生のいまおもしろく青瓢
		幡多郡黒潮町	徳廣 由喜子(とくひろ ゆきこ)	大根蒔く畑にもありし設計図
		香美市	山崎 鈴子(やまさき すずこ)	訃がこつと色なき風に迷ひ来て
		高知市	尾崎 淳(おざき じゅん)	穠穂に身の丈ほどの虚栄心
		高知市立春野中学校二年	小笠原 龍一(おがさわら りゅういち)	めざましの音より早くセミの声
		土佐市立高岡第一小学校六年	川原 夏梨(かわはら かりん)	木々ゆらすいたずら好きな春の風
川柳	文芸賞	高知市	山岡 陸宏(やまおか みちひろ)	源流が同じ滴の清と濁
	文芸奨励賞	高知市	大野 早苗(おおの さなえ)	わたくしを我等にさせる助詞がある
		吾川郡いの町	渡邊 ゆかり(わたなべ ゆかり)	ワンス・ア・イヤー命燃やせとツガニ汁
		吾川郡いの町	岡林 裕子(おかばやし ひろこ)	大丈夫傘は家にも二つある
		高知市	富士田 三郎(ふじた さぶろう)	曜日なき独居へ届く遠花火
		土佐市立高岡第一小学校六年	池 瑞依(いけ みずい)	遠花火だけど心臓ゆれ動く
	佳作	高知市	近藤 真奈(こんどう まな)	面取りをすれば時間も柔らかく
		香美市	藤村 るみ(ふじむら るみ)	金平糖不思議な角のものがたり
		高知市	大野 充彦(おおの みつひこ)	別れゆく昨夜の歩調好きだった
		吾川郡いの町	森乃 鈴(もりの りん)	靡くしかないと考え輩になる
		高知市	明神 永子(みょうじん えいこ)	針金の捻ったやつを忘れまい
		南国市	山崎 光子(やまさき みつこ)	海月より気儘に浮いてキミは喜寿
		高岡郡日高村	森下 菊(もりした きく)	我らもう絶滅危惧種村の秋
		土佐清水市	辻内 次根(つじうち つぎね)	夕暮れを引っ張ってきたオニヤンマ
		土佐市立高岡第一小学校四年	渡邊 和弥(わたなべ かずや)	上下と右と左に春の声
		清和女子高等学校二年	北之園 心咲(きたのその みさき)	白線とホイッスルの ^ね 音風になる